

令和7年度 芦屋町歴史民俗資料館事業

芦屋町の貴重な歴史・文化を後世に伝えるため、各種事業を実施する。

1. 特別企画展の実施

(1) 「八朔の節句パネル展」 [9月2日(火)～21日(日)]

「芦屋の八朔行事」は、国の「記録保存等の措置を講ずべき無形民俗文化財」に選択されている。パネル展を通して、芦屋町の伝統行事である八朔の節句を分かりやすく紹介することを目的とした。また、わら馬やだごびーなの前を写真撮影スポットとし、八朔の節句体験をとおして、来館者の満足度の向上を図った。

あわせて、筑前芦屋だごびーなとわら馬まつりと同時期に開催し、町内周遊の促進も図った。

(2) 「金屋遺跡展」 [10月15日(水)～12月7日(日)]

芦屋釜は、南北朝時代頃(14世紀半ば頃)から筑前国芦屋津金屋(現在の芦屋町中ノ浜付近)で造られた。その工房跡が検出された遺跡が、金屋遺跡である。本特別展では、工房跡である金屋遺跡から出土した資料を中心に紹介した。また、令和7年2月に芦屋町指定有形文化財に新規指定された2件の資料についても詳しく紹介した。

(3) 「映画「トラ・トラ・トラ！」芦屋ロケの思い出」 [令和8年2月10日(火)～3月29日(日)]

映画「トラ・トラ・トラ！」は、第二次世界大戦の真珠湾攻撃を描いた作品である。この映画の撮影に際し、芦屋町の海岸に巨大なオープンセットが組まれた。この度、この撮影の場面をもとに製作したジオラマが寄贈されることとなり、これを記念して、企画展示を実施する。

2. 指定民俗行事の記録・調査・継承・育成

(1) 八朔行事の継承、育成

わら馬づくり講習会を行い、八朔行事を周知する。実際に八朔行事を実施される方には、写真撮影・寄贈を行った。

(2) はねその継承、育成

講習会や盆踊りなど、はねそ保存会の活動を支援する。戦没者慰霊盆踊り(はねそ披露)

※戦没者慰霊盆踊り大会は、主催者都合により、中止となった。

3. 指定文化財の保存・活用

(1) 町指定文化財の新規登録

新たな芦屋町指定文化財の新規登録に向けた検討を行う。

(2) 県・町指定文化財の保存・活用

定期的に県・町指定文化財の見回りを行い、適切な保存に努める。あわせて、県・町指定文化財の解説や展示等での活用を図る。

4. 小中学校との連携による、児童・生徒の郷土史理解に向けた支援及び事業の実施

小中学校の施設見学や職場体験などに協力し、児童・生徒の郷土史への理解を深める。

5. 各種講座の実施

(1) 歴史探訪バスツアー [①10月19日(日)、②11月30日(日)、③3月8日(日)]中止

各地を訪れ、歴史・文化への理解を深める。

- ① 大内氏の足跡を追う
- ② 日本海に行く
- ③ 瀬戸内に行く

※令和7年度の歴史探訪バスツアーは、業務の都合により、中止した。

(2) 化石探検 [5月25日(日)]

化石が出土する堂山周辺において、化石に詳しい講師を迎えて化石を探す体験を行い、地域の歴史や自然についての知識を深める。

(3) 八朔のわら馬づくり講習会 [6月15日(日)]

わら馬づくりを実際に体験してもらい、次代への製作技術の継承を図るとともに、地域の民俗行事への関心を高める。

(4) 歴史体験講座 [①7月20日(日)、②令和8年1月25日(日)]

昔のものづくりを体験してもらうことで、当時の人々の生活について理解を深め、歴史や民俗への関心を高める。

- ① 大珠づくり
- ② 錫の古銭づくり

(5) 夏休み芦屋の歴史クイズラリー [7月19日(土)～8月24日(日)]

夏休み期間に合わせ、芦屋町の歴史に関するクイズを出題し、こどもたちに、芦屋町の歴史に関心をもってもらう。

6. 収蔵史資料の整理・保存、データベースの保存

新規収蔵資料の登録・既存収蔵資料の整理などを行い適切に管理する。

7. 芦屋町郷土史研究会への活動支援

芦屋町郷土史研究会が主催する、学習会や史跡めぐり等の事業について活動を支援する。

8. 町内に残る民俗・芸能に関する調査

町内に残る民俗・芸能について、聞き取りなどにより調査を行う。(随時)